

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	森を守り育む市民団体『もりんちゅうの会』		
団体の所在地	三田市	代表者名	二口 力 (ふたくち ちから)

1. 事業名	森を守り育む市民活動		
2. 実施期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 12 日 (活動は年間を通じて行います)		
3. 主な実施場所	三田市けやき台 3 丁目 28 番地、43 番地の原っぱ及び森林 3 か所である。その他、森林の枝打ち、除間伐、伐木活動を行っているが、ここでは割愛する。		
4. 活動形態	○実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>6 月 19 日(日) 雨の為けやき台コミセンで打ち合わせ会を開催した。5 人参加した。</p> <p>6 月 20 日(月) ローターリーモア GR538 が入荷した。</p> <p>6 月 26 日(日) ローターリーモアを使って、もりんちゅう広場アベマキで草刈りを行った。二人参加した。</p> <p>7 月 5 日(火) ローターリーモアとチェーンソーを使って、諏訪の森、もりんちゅう広場アベマキで草刈り、枯損松の伐採を行った。二人参加した。</p> <p>7 月 7 日(木) 諏訪の森で三田市公園みどり課前中課長から水道を市で導入しても良いとの話で、皆で話し合いを行った。二口、永井、秋永、山谷、星野、中田の 6 人である。</p> <p>7 月 13 日(木) 諏訪の森で、スティール草刈り機で草刈りを行った。</p> <p>7 月 10 日(日) 諏訪の森で打ち合わせ会を行った。中田一真さんが、ここに動物の夜間行動を写すカメラを設置する話が出て、皆で確認をした。二口、田村、岡、振角、中田一真、中田裕翔が参加した。</p> <p>7 月 14 日(木) 諏訪の森で二口がロータリーモアを使った、秋永さんは草刈り機を使った。</p> <p>7 月 21 日(木) 諏訪の森で三田市公園みどり課前中課長、坂上さん、『もりんちゅうの会』から二口、田村、永井、秋永、松田、花ごころの星野さんが出席して、水道導入の現地打ち合わせを行った。</p> <p>9 月 10 日(土) WT市民センターで 児童クラブ育成会主催で西谷寛先生と二口が協働で環境学習を行った。</p> <p>9 月 11 日(日) 諏訪の森でロータリーモアと草刈り機を使って草刈りをした。近隣の子供達に竹細工講習会を開催した。会員は 4 人参加した。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<p>3 か所の広っぱで草刈り機とロータリーモアを使って草刈りを何回か行ってきた。草刈り機だけで刈るよりその能率は約 8 倍であった。8 日かかる所を 1 日で終える感じである。草刈り機とロータリーモアを草の状況で使い分けた。藪となっている所はまず造林鎌、草刈機を入れて、その後でロータリーモアを入れた。ロータリーモアは能率だけでなく刈り取った草をその場に裁断して蒔いて行き、即肥料となり、草を集める作業からも開放された。月に 1 回ずつ、同一場所に、ロータリーモアを入れて行って、常時子供も走り回れる環境の維持がはかられた。</p> <p>近隣の子供達がすぐに入ってくるが、ロータリーモアで刈った後には、小さい子供さんとお腹の大きなお母さんも入ってこられた。これは、とても私たちに嬉しい出来事であった。</p> <p>ここはいわゆる公園ではない。刈り込む場所とスキの根株などは積極的に残してゆく刈り方である。我々の考える豊かな草原である。生物の多様性を保全する豊かな草原となった。このスキの根株を残してゆくことは、かつて伊丹市昆虫館の河上先生が来られてアドバイスを受けた事項である。この繰り返しを数年続けたら、削られて年月の浅い地味も貧しい原っぱも地味の肥えた豊かな草原になるだろう。</p> <p>このロータリーモアの助成金に心から感謝である。これは我々がここ数年で実証済みである。</p>		
7. 成果物	ここに子供達が多く入って来ることを想定して、樹木名板作り、樹木調査を秋永さんが行ってきた。また、子供達の安全看板を 3 枚手配した。写真にも載ったが、「自分の責任で自由に遊ぶ」がメインタイトルである。		
8. 活動写真			